

科目名：衛生学・公衆衛生学 (Environmental and Public Health) 履修年次/時期：2年次 前期 授業形態：講義 担当教員：戸田 真司（実務経験有）		必	2単位
学修目的	衛生学は疾病を予防し健康を保持増進することによって人としての機能や能力を十分発揮できるようにするための学問である。健康と予防医学の概念、人をとりまく自然・社会的環境と健康との関係や集団を対象とした疾病予防と地域保健活動について学修する。具体的には人口問題や環境変化による健康影響、健康に係わる地域の役割、ライフステージに対応した地域保健活動について修得する。 DP2（1～3）に関連する。CP2,4に関連する。科目 No.S2B07H04		
到達目標	生活環境や公衆衛生の現状を学修することで、社会生活・社会制度のもとで健康を保持増進するために必要な知識と技術を修得する。さらに、他医療職と連携をとりながら地域住民に対する疾病予防と健康増進を支援するとともに、地域社会で保健活動を実践することができる。 ①人口統計を説明できる。 ②環境と健康との関係について説明できる。 ③感染症を説明できる。 ④生活習慣と生活習慣病について説明できる。 ⑤ライフステージに対応した地域保健活動を説明できる。 ⑥精神保健を説明できる。		
授業概要	講義：環境問題、感染症、生活習慣病、地域保健、母子保健、学校保健、成人・高齢者保健、産業保健、精神保健等と健康との係わりについて個人や地域保健の観点から学修する。 授業は教科書を中心に解説し、必要な資料を配布し、スライドや黒板を適宜使用する。 学生諸氏はシラバスに沿って予習をするとともに、用意された予習課題に取り組む。また、予習課題とともに復習課題を毎回用意するので、授業ごとにできるだけ早いタイミングで事後学習に取り組み、得られた知識を整理し修得する。		
評価方法	学期末本試験（100点満点） 授業への参加度および課題の実行度に応じて加点を行う。 授業中の私語や指示のない携帯端末の使用など、不適切とみなされる受講態度が認められる場合には減点を行う。 試験に対するフィードバックを行う際には、個別対応でなく掲示にて行う。		
予習・ 復習時間	【予習】2.0時間 【復習】2.0時間		
教科書	医療スタッフのための衛生学エッセンス -2022/2023-（学建書院）		
参考書	講義中に紹介します。		
オフィス- 連絡先	戸田 真司：月～金曜日 12:40～13:20 16:40～17:00 4号館 2階（戸田研究室） toda.s@kdu.ac.jp 事前にメール連絡をいただくと円滑に対応できます。		